



互換性マトリクス：必須および推奨 サードパーティ サービス パックと アップデート

Revised September 5, 2003

このドキュメントの内容は次のとおりです。

- [Cisco Unity と、必須および推奨のサードパーティ サービス パックとアップデート \(P.2\)](#)
- [Cisco Unity Bridge と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデート \(P.6\)](#)
- [必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートについてのサポート ポリシー \(P.7\)](#)
- [Windows Automatic Update についてのサポート ポリシー \(P.8\)](#)



(注)

使用に適したサービス パックまたはアップデートを Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Bridge サーバにインストールする場合、インストールする予定の（またはインストール済みの）オプションのサードパーティ製ソフトウェアまたはハードウェアについて、メーカー側でもその製品でサービス パックをサポートしているかどうかを事前に確認してください。シスコでは、お客様（または、システム インテグレーション パートナー）が、それらの製品と Cisco Unity との相互運用性を検証してから製品を展開することを期待しています。これによって、Cisco Unity とサーバ上にロードされているサードパーティ製品との間の問題が実運用環境で見つかる危険性を回避できます。

このドキュメントに記述されているサポート ポリシーは、Cisco Unity および Cisco Unity Bridge サーバに適用されることに注意してください。Cisco Unity ユーザ ワークステーションに適用されるサポート ポリシーについては、『互換性マトリクス：Cisco Unity とユーザワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

Cisco Unity と、必須および推奨のサードパーティ サービス パックとアップデート

表 1 に、Cisco Unity と、必須および推奨のサービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせの一覧を示します。

「Cisco Unity のセットアップ時には必要でない必須のサービス パックとアップデート」欄に示されているサービス パックとアップデートは、対応するバージョンの Cisco Unity のリリース後に Microsoft からリリースされたものです。このソフトウェアをインストールすることによって、Cisco Unity の機能を損なう可能性がある脅威から Cisco Unity サーバを保護することができます。

「Cisco Unity のセットアップ時に必要な必須のサービス パックとアップデート」欄に示されているソフトウェアの大半は、Cisco Unity サーバの購入元ならびにインストールする Cisco Unity のバージョンに応じて、自動的にインストールされます。

- Cisco Unity サーバをシスコから購入した場合、サーバに同梱されている Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクは、オペレーティング システム、大半の必須のサービス パック、および一部のアップデートをインストールします。
- Cisco Unity 4.0(1) 以降の場合、大半の必須のサービス パックとアップデートは Cisco Unity システム チェック アシスタントに従ってインストールできます。

プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクの各バージョンおよび Cisco Unity システム チェック アシスタントの各バージョンによりインストールされるソフトウェアの詳細な一覧については、『Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクおよび Cisco Unity システム チェック アシスタントによってインストールされるコンポーネントとソフトウェア』を参照してください。

サービス パック、アップデート、および Cisco Unity Bridge の互換性に関する情報については、P.6 の表 2 を参照してください。

表 1 Cisco Unity と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせ

Cisco Unity	Cisco Unity のセットアップ時に必要な必須のサービス パックとアップデート ¹	Cisco Unity のセットアップ時には必要でない必須のサービス パックとアップデート	推奨のサービス パックとアップデート ²
4.0(3)	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 Server SP 2 • Exchange Server 5.5 SP 4 • Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス • Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス • Internet Explorer 6 SP 1 • MSXML 3.0 SP 1 • SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a • Windows 2000 Server SP 3 	なし	<ul style="list-style-type: none"> • Exchange 2000 Server SP 3 • Microsoft Knowledge Base 記事番号 813840 で説明されている March 2003 Exchange 2000 Server Post-Service Pack 3 Rollup • Windows 2000 Server SP 4

表 1 Cisco Unity と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせ (続き)

Cisco Unity	Cisco Unity のセットアップ時に必要な必須のサービス パックとアップデート ¹	Cisco Unity のセットアップ時には必要でない必須のサービス パックとアップデート	推奨のサービス パックとアップデート ²
4.0(2)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 6 SP 1 MSXML 3.0 SP 1 SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP3a Windows 2000 Server SP 3 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 3 Windows 2000 Server SP 4
4.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 6 SP 1 MSXML 3.0 SP 1 SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 2 SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SRP 1 August 2002 Windows 2000 Server SP 3 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 3 Windows 2000 Server SP 4
3.1(6)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange Server 5.5 SP 4 Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス Internet Explorer 5.5 SP 2 MSXML 3.0 SP 1 SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a Windows 2000 Server SP 3 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 3 Internet Explorer 6 SP 1 Windows 2000 Server SP 4

表 1 Cisco Unity と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせ (続き)

Cisco Unity	Cisco Unity のセットアップ時に必要な必須のサービス パックとアップデート ¹	Cisco Unity のセットアップ時には必要でない必須のサービス パックとアップデート	推奨のサービス パックとアップデート ²
3.1(5)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 5.5 SP 2 MSXML 3.0 SP 1 Windows 2000 Server SP 2 	<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 3 Internet Explorer 6 SP 1 Windows 2000 Server SP 4 Windows 2000 Server SP 3
3.1(4)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 5.5 SP 2 MSXML 3.0 SP 1 Windows 2000 Server SP 2 	<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Windows 2000 Server SP 4
3.1(3)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 5.5 SP 2 MSXML 3.0 SP 1 Windows 2000 Server SP 2 	<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange 2000 Server SP 1 Windows 2000 Server SP 4

表 1 Cisco Unity と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせ (続き)

Cisco Unity	Cisco Unity のセットアップ時に必要な必須のサービス パックとアップデート ¹	Cisco Unity のセットアップ時には必要でない必須のサービス パックとアップデート	推奨のサービス パックとアップデート ²
3.1(2c)、 3.1(2b)、 3.1(2)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 5.5 SP 2 MSXML3 SP 1 Windows 2000 Server SP 2 	<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 2 Exchange 2000 Server SP 1 Windows 2000 Server SP 4
3.1(1)	<ul style="list-style-type: none"> Exchange Server 5.5 SP 4 Internet Explorer 5.5 SP 2 MSXML3 SP 1 Windows 2000 Server SP 2 	<ul style="list-style-type: none"> SQL Server 2000 および MSDE 2000 の SP 3 または SP 3a Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス 	<ul style="list-style-type: none"> Exchange 2000 Server SP 1 Windows 2000 Server SP 4

1. 必須の Exchange サービス パックとアップデートは、Cisco Unity ユーザがホームとする Exchange サーバすべてに適用してください。必須の Exchange サービス パックとアップデート、およびその他の必須のサービス パックとアップデートのすべては、関連するコンポーネントソフトウェアを Cisco Unity サーバにインストールする際に適用してください。
2. 推奨されるサードパーティ サービス パックとアップデートは、対応する Cisco Unity のバージョンがリリースされた時点で使用が認められています。推奨されるサービス パックまたはアップデートが Cisco Unity の以前のバージョンでサポートされているかどうか確認するには、P.7 の「必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートについてのサポート ポリシー」を参照してください。

Cisco Unity Bridge と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデート

表 2 に、Cisco Unity Bridge と、必須および推奨のサービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせの一覧を示します。

Cisco Unity サーバをシスコから購入し、サーバに同梱されている Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクを使用してオペレーティング システムをインストールした場合、「必須のサービス パックとアップデート」欄に示されたソフトウェアはほとんどまたはすべて (Bridge のバージョンにより異なる)、自動的にインストールされます。

プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクの各バージョンによりインストールされるソフトウェアの詳細な一覧については、『Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスクおよび Cisco Unity システム チェック アシスタントによってインストールされるコンポーネントとソフトウェア』を参照してください。

Cisco Unity Bridge のセットアップでは、Bridge サーバのサービス パックとアップデートのインストールは強制されません。

サービス パック、アップデート、および Cisco Unity の互換性に関する情報については、P.2 の表 1 を参照してください。

表 2 Cisco Unity Bridge と、必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートのサポートされるバージョンの組み合わせ

Cisco Unity Bridge	必須のサービス パックとアップデート	推奨されるサービス パックとアップデート ¹
3.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス Internet Explorer 6 SP 1 MSXML3 SP 1 Windows 2000 Server SP 3 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Windows 2000 Server SP 4
2.1(x)	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 6 SP 1 Windows 2000 Server SP 3 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス
2.0(1)	<ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 5.5 SP 2 Windows 2000 Server SP 2 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Security Bulletin MS03-026 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 823980 で説明されている Blaster ワームのホット フィックス Microsoft Security Bulletin MS03-007 および Microsoft Knowledge Base 記事番号 815021 で説明されている IIS のホット フィックス

1. 推奨されるサードパーティ サービス パックとアップデートは、対応する Cisco Unity Bridge のバージョンがリリースされた時点で使用が認められています。推奨されるサービス パックまたはアップデートが Bridge の以前のバージョンでサポートされているかどうかを確認するには、P.7 の「必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートについてのサポート ポリシー」を参照してください。

必須および推奨サードパーティ サービス パックとアップデートについてのサポート ポリシー

Microsoft は、Windows 2000 Server、Exchange Server、SQL Server 2000/MSDE 2000、Internet Explorer および IIS に対して頻繁にアップデートを提供しています。こうしたアップデート（セキュリティロールアップ パッチ、セキュリティ アップデート、重要なアップデート、パッチ、ホット フィックスなど、さまざまな名前と呼ばれる）は、特定の問題を修正する変更に限定されています。したがって、一般的な不良個所の修正や新機能は含まれません。これらすべての Microsoft アップデートについて、シスコは、Microsoft がリリースしたその日から使用を認めています。Cisco Unity サーバをアップデートする時期を決定するために、サーバソフトウェア メンテナンス ポリシーに基づいて、Microsoft のアップデートを評価することを推奨します。社内のポリシーがない場合は、Microsoft アップデートのリリース時に、Cisco Unity サーバにそれらのアップデートを適用することを推奨します。Cisco TAC は、そのようなアップデートがインストール済みの Cisco Unity システムをサポートします。

また、Microsoft では一般の製品リリース以降に発生した修正を集めたサービス パックをリリースすることがあります。サービス パックには、アップデートとしてリリースされたほとんどの修正が含まれます。サービス パックの適用範囲は幅広いため、変更によって Cisco Unity に悪影響を及ぼすことがないように、各サービス パックは徹底的にテストする必要があります。Cisco TAC では、Cisco Unity との併用が適切だと認められるまでは新しいサービス パックをサポートしません。

使用に適さないサービス パックをインストールしないでください。インストールした場合、Cisco TAC ではそのサービス パックがアンインストールされるまで問題解決をサポートしません。

シスコでは、該当する Microsoft サービス パックがリリースされてから 60 日以内に、Cisco Unity および Cisco Unity Bridge のリリース済みのバージョンにそのサービス パックが適用可能かどうか、またそのサービス パックの適用が推奨するものであるか必須であるかを発表します。

アップデートやサービス パックは、他の非 Cisco Unity サーバ（IBM Lotus Domino、Exchange 2000、Exchange 5.5 メール サーバなど）に適用できます。このようなアップデートやサービス パックが、シスコの製品とお客様のインフラストラクチャの間の相互運用性に関して特に重要な問題を包含していない限り、シスコがその適用を要求することはありません。メール サーバ サービス パックを適用する場合、シスコは、サービス パック レベルを組織内のすべてのメール サーバに適用する Microsoft のベスト プラクティスを推奨します。クライアント PC およびボイスメール アクセス デバイス（PDA など）、メール サーバ、ドメイン コントローラ、およびグローバル カタログ サーバは、すべてお客様のインフラストラクチャの一部と見なされます。

シスコでは、Cisco Unity および Bridge のメジャー リリースおよびマイナー リリースに対して、特定の Microsoft コンポーネントの最大 2 つのサービス パックを推奨としてサポートします。後続のサービス パックがリリースされた場合、シスコは、Cisco Unity または Bridge の次のメジャー リリースまたはマイナー リリースにおいて、最も古い推奨のサービス パックのサポートを中止します。

サービス パックが Cisco Unity または Bridge において推奨として使用が認められている場合、サービス パックは、Cisco Unity または Bridge の現在サポートされているすべてのバージョンにおいてサポートされます。ただし、特定のシスコ製品のバージョンが、推奨のサービス パックをサポートするために必要でない場合に限ります。

Windows Automatic Update についてのサポート ポリシー

Windows Automatic Update (WAU; Windows 自動更新) は、Cisco Unity 4.0(x) 以降のサーバ、および、Cisco Unity Bridge 2.1(x) 以降のサーバでサポートされています。これは、[更新をダウンロードする前に通知し、コンピュータにインストールする前に再度通知する] オプションが選択されている場合に有効です。Cisco Unity プラットフォーム コンフィギュレーション ディスク revision 12 以降を使用して Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Bridge サーバを構成した場合は、WAU は使用できません。



注意

WAU は、アップデートをチェックするためにだけ構成し、アップデートをインストールするためには構成しません。多くの Microsoft アップデートは、利用可能になった時点ですぐに Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Bridge サーバにインストールできます。ただし、Microsoft のサービスパックは、Cisco Unity および Cisco Unity Bridge で使用するのに適している必要があります。WAU では、サービスパックと他のアップデートとを区別しません。

WAU の利点の多くは、Windows 2000 Server のセキュリティの脆弱性にパッチを当てることに関連しています。Cisco Unity サーバがボイス メッセージ用に構成されていて、ネットワークやインターネットに接続されていない場合は、WAU からのアップデートによって防ぐようなセキュリティの脆弱性はありません。ボイス メッセージ構成では、WAU を使用するためだけに Cisco Unity サーバをインターネットに接続することは、絶対に避けてください。



注意

Cisco Unity サーバや Cisco Unity Bridge サーバをインターネットに接続することは、ハッキングやワームなど、さまざまな潜在的なセキュリティの問題にさらされることとなります。Cisco Unity サーバや Cisco Unity Bridge サーバをインターネットに接続する場合は、サポートされているウィルス スキャン アプリケーションと侵入検知アプリケーションをインストールして、セキュリティの危険性を低減することを強く推奨します。サポートされているウィルス スキャン ソフトウェアと、サポートされているオプションの追加ソフトウェアの一覧は、『Cisco Unity システム要件およびサポートされるハードウェアとソフトウェア』または、次の URL にある『Cisco Unity Bridge System Requirements, and Supported Hardware and Software』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2237/prod_pre_installation_guides_list.html

AccessPath, AtmDirector, Browse with Me, CCIP, CCSI, CD-PAC, *CiscoLink*, Cisco *Powered* Network のロゴ、Cisco Systems Networking Academy, Cisco Systems Networking Academy のロゴ、Cisco Unity, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, FrameShare, IGX, Internet Quotient, IP/VC, iQ Breakthrough, iQ Expertise, iQ FastTrack, iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard, MGX, Networkers のロゴ、ScriptBuilder, ScriptShare, SMARTnet, TransPath, Voice LAN, Wavelength Router, および WebViewer は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, および Discover All That's Possible は、Cisco Systems, Inc. のサービス マークです。Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCNA, CCNP, Cisco, Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS, Cisco IOS のロゴ、Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherSwitch, FastHub, FastSwitch, GigaStack, IOS, IP/TV, LightStream, MICA, Network Registrar, *Packet*, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, RateMUX, Registrar, SlideCast, StrataView Plus, Stratm, SwitchProbe, TeleRouter, および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. または関連会社の登録商標です。

このマニュアルまたは Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0110R)

Copyright © 2002-2003 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco Connection Online Japan
<http://www.cisco.com/japanese/manuals/>

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター
<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501